

月日	月日	月日	月日	月日	月日～月日	月日～	
経過	手術前日入院	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	術後1日目	術後2日目～	術後7日目～退院	
目標	不安なく手術に臨める。	手術にいく前の準備 □パンツ以外の下着を脱いで、病衣に着替えてください。 □化粧やマニキュアを落としてください。 □血栓予防のストッキングを装着します。 □義歯、眼鏡、時計、ヘアピン、指輪を外してください。 □貴重品や鍵は、ご家族の方に渡してください。 がんばりましょう！	 点滴酸素吸入 蓄尿袋 廃液バック	食事が摂取できる。 歩行できる。	創に問題がない。 自分で着替えができる。	創に問題がない。 退院できる。	
検査	□入院後～手術前までの間にエコー、手術部位へのマーキングを行います。（手術当日に行う場合もあります）			採血、レントゲンを行います。	特にありません。		排液の量をみて、量が少なくなったら、創部の管を抜きます。 通常、創部の管を抜いたら、翌日退院です。
処置	□手術後に使用する胸帯とストッキングのサイズを測ります。			医師の診察後、胸帯をとります。（創部の状態で圧迫を継続することがあります。） 午前中に尿の管を抜きます。	創部の確認をします。		
治療				創部に溜まった液を管から排液します。			
観察	体温、脈拍、血圧測定を行います。		体温、脈拍、血圧測定を行います。 創部に挿入された管の排液や創部の状態を確認します。				
注射		1 番目の手術の場合は手術室で点滴を行います。 それ以外の場合は、午前中に点滴を行います。	手術後は、持続点滴を行います。	点滴を抜きます。			
内服	普段内服している薬を確認します。 夕食後に下剤を飲みます。希望時は眠剤を飲むことができます。	朝に内服薬がある場合はお知らせします。	医師の許可があれば、痛み止めや胃のお薬、普段飲んでたお薬を内服できます。	□朝から痛み止めと胃のお薬を飲みます。 □普段飲んでたお薬は医師の許可があれば内服できます。	歩くときは排液バックを携帯してください。 管を引っばらないように、注意してください。 		
食事	□夕食後～絶食 □（ ）～絶食	（ ）時～絶食水	□医師の許可がでてから水を飲むことができます。	□朝から食事がはじまります。			
行動	入院前と同じように、トイレ、洗面、シャワー浴ができます。	朝起きたら「手術に行く前の準備」をして下さい。手術室より連絡がきたら看護師と一緒に歩いて手術室に行きます。手術中、家族の方は病棟ラウンジでお待ちください。	ベッドで寝返りをしたり、座ることができます。うがいや歯磨きなどはベッド上で行います。	尿の管を抜いた後は、歩くことができます。お身体を拭きます。	髪の毛を洗ったり、下半身のシャワー浴ができます。 半身はタオルで拭きます。 病室で行うリハビリは自分のペースで毎日続けて下さい。 ハビリ室で理学療法士と一緒にリハビリを行います。	上 リ	
説明	病棟看護師より手術の説明があります。午後から麻酔科医師と手術室看護師より、手術前の説明があります。		手術後、医師から手術結果をご家族に説明します。	リハビリテーション（以下リハビリ）の説明があります。		看護師より「退院後の生活」「補整下着」「自己検診方法」などについて説明があります。	

注1）病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。
注2）入院期間については現時点で予想されるものです。
注3）特別な栄養管理の必要性については、電子カルテ等様式の変更が直ちにできない場合、食事の欄に記載してもよい。

特別な栄養管理の必要性
有・無

上記内容について説明を受け同意いたしました

署名：	続柄：
-----	-----

（連絡先）
乳腺外科外来：024-547-1221
みらい棟4階東病棟：024-547-1629